

令和3年度

木屋平中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 少人数での授業方法の工夫と改善
- タブレットの活用, リモート学習の推進

学力向上検討委員会構成

--	--

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○真面目で素直な生徒が多い。落ち着いた態度で授業に取り組んでいる。 ●長い文章を正確に読み取ったり, 身に付けた知識等を関連付けたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け, 自主的・自律的に学習に取り組むことができる。 ・学習の過程を通して習得した知識が, 既習の知識と関連付けられ, 他の学習の場面で活用することができる。	・内容の重点箇所を捉えさせるため, 教科書等の文章にアンダーラインを入れさせる。 ・朝の学習で学習支援ソフトを利用し, 基礎的・基本的知識の定着を図る。 ・単元の導入や発問を工夫し, 生徒が興味をもって取り組むことができるようにする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の調べたことをもとに整理して発表したり, 自分の意見を相手の立場に立って伝えることができる。 ●課題に応じて, 必要な情報等を取り入れ自分の考えを深め, 新しい考えを創造することに課題がある。	・課題に対して, さまざまな情報や他者の意見を取り入れ, 自分の考えを深めたり相手に伝えたりすることができる。 ・自分の考えを述べる際には, 判断の根拠や理由を示しながら伝えることができる。	・リモートでの学習等で他校との連携を図り, 多様な意見を取り入れ, 考えを深めさせる。 ・生徒の発言や発表の内容に応じ, 「なぜ」「どうして」などの発問を行い, 生徒の考えを深めさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの教科の授業にも落ち着いて取り組むことができている。 ●自主的に目標を立てたり, 計画を立てたりして学習を進めることに課題がある。	・各教科の学習に意欲的に取り組むことができる。 ・家庭学習の習慣を身に付けることができる。 ・自ら課題を見つけ, 解決するために計画を立てて実践することができる。	・単元における学習目標を明確にし, 教材や板書を工夫することで, わかる授業を展開し, 「わかった」「できた」を実感させる。 ・家庭学習で取り組む課題を精選し, 家庭と連携して行うようにする。 ・自ら立てた計画表を振り返らせ, 計画を見直し改善できるようにする。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

